

# 東京都

定 数： 22 名

立候補者数： 36 名



氏名 梶原 侑馬

都道府県士会 東京都

年齢 33

勤務先名称 N T T データ経営研究所



氏名 千葉 哲也

都道府県士会 東京都

年齢 61

勤務先名称 玉川病院

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】  
2021年～2022年 (一社) 日本予防理学療法学会 理事  
2021年～2022年 (一社) 日本理学療法学会連合 広報委員会  
2022年～現在 (公社) 日本理学療法士協会 代議員

【立候補の趣旨】  
私は、臨床、大学発ベンチャー、ヘルステック企業を経て、現職のコンサル・シンクタンクで仕事をしています。ヘルスケア業界で蓄積された現場の声や知見に基づく洞察を活かし、データも重視しながら、ヘルスケア・スポーツ・教育・電子政府・観光・まちづくりにおける最新技術活用を用いた戦略コンサルティングに従事しており、内閣府、総務省、こども家庭庁、厚生労働省、スポーツ庁の案件にも携わっています。また産学官連携活動としてSports-Tech & Business Lab (NTTデータ経営研究所・早稲田大学共同設立)の事務局長代理もしています。  
今後、理学療法、特に予防や健康増進の分野においては、既存の臨床や研究の知見だけであると、理学療法士の職域拡大や知名度向上、質向上などは期待できないと思っています。その際に、多くの分野を経験した上で、統合解釈し、テクノロジーを有効活用したビジネス・社会実装の知見・経験がある人材や異分野・産学官が連携した分野横断的な活動が必ず必要となります。リアルとデジタルを共存させ、今までとはまた違う価値を生み出すことができなければ、療法士の予防・健康増進分野は特に他業界にいいポジションを取られてしまうと本気で思っています。そこで、コンサル・IT業界等の知見がある人は代議員に必要です。  
協会活動を通じて、データ・テクノロジーを重要視し、イキイキとした社会を創り、結果的に健康になっていた環境づくり、健康維持が生きがいや楽しさにつながる体験の再設計などの方法も模索していきたいと思っています。

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

代議員に立候補させていただきます、千葉と申します。  
東京都理学療法士協会では副会長させていただいております。  
日本理学療法士協会は新たな試みなど、  
今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。  
代議員として意見を述べさせていただければ幸いです。



氏名 宮森 隆行

都道府県士会 東京都

年齢 48

勤務先名称 順天堂大学



氏名 中丸 宏二

都道府県士会 東京都

年齢 53

勤務先名称 株式会社NECライベックス

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【委員】

2022年～：日本スポーツ理学療法学会 国際委員会 委員長

2023年～：東京都理学療法士協会 理事

### 【立候補趣旨】

私は、これまで理学療法士養成大学および附属病院において、教育・研究・診療に携わる他、国内外の様々なスポーツ現場における理学療法サービス事業を行ってきました。また、大学院留学時代は、日本におけるスポーツ理学療法領域の国際標準化について再考を重ねて参りました。そして、2023年からは、東京都理学療法士協会の理事を拝命し、主にスポーツ局にて会員の皆様のスポーツ理学療法分野への参画、および人材育成事業に携わっています。

今回、代議員選挙に立候補させて頂いた趣意は、主に3つ挙げられます。1つ目は、日本におけるスポーツ理学療法の国際標準化を推進し、人材育成・教育事業の発展に努めること。次に、会員の皆様が国内外のスポーツイベントに参画できる環境を提供し、理学療法士の認知度を高めていくこと。さらに、今後、理学療法士が学校保健事業に携わり、小中高の児童生徒等に対する運動器疾患や障害予防教育を通して、心身の健全な発育・発達に理学療法士が貢献できるようなシステムを構築していくことです。

上記、趣意を達成していくためには、関連学会、教育機関、東京都理学療法士協会、そして日本理学療法士協会との連携が不可欠です。これまで構築したネットワークと教育・診療実践の経験を基盤として、会員の皆様とともに社会における理学療法士の価値を高めていきたいと考えております。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【協会・士会役員歴】

2018年 第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会準備委員

2021年～現在 一般社団法人日本スポーツ理学療法学会財務委員・評議員

2021年～現在 一般社団法人日本筋骨格系徒手理学療法研究会評議員

2023年～現在 日本理学療法士協会スポーツ理学療法業務推進部会部会員

2023年～現在 スポーツ庁令和5年度Sport in Life推進プロジェクト調査研究実行委員会実施担当者

### 【立候補の趣旨】

理学療法士となって23年間は整形外科クリニックで外来の運動器・スポーツ理学療法の臨床、大学院での研究に携わる機会を頂き、その後はICT企業（NEC）と国立大学法人（東京医科歯科大学）との連携協定による保険外理学療法を含めたヘルスケア領域の事業・研究に従事しております。また、協会や学会からは理学療法士の認知度向上や社会的地位向上、職域の拡大などを行う機会を頂いております。今回、会員の皆様が安心して臨床・研究・教育に励めるように、そして理学療法士の社会的価値を高め、様々な領域で活躍できる環境作りに貢献すべく、皆様の思いを協会に伝える役割を担える代議員に立候補することに致しました。皆様のご理解、ご支援を頂けますと幸いです。



氏名 辰巳 昌嵩

都道府県士会 東京都

年齢 38

勤務先名称 厚生労働省



氏名 栗田 慎也

都道府県士会 東京都

年齢 37

勤務先名称 東京都立大久保病院

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、公益社団法人日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました、辰巳 昌嵩（たつみ まさたか）と申します。

「代議員の活動を通じて、会員の皆さまに日本理学療法士協会の情報や活動を身近に感じていただき、より良い在り方を模索する一助になりたい」これが、私の代議員選挙立候補の理由です。

私はこれまで、医療法人をはじめ、在宅医療・介護、高齢者施設、地域保健活動、教育機関や民間企業で勤務し、現在は、行政機関において障害福祉分野を担当しております。協会活動としては、理学療法ハンドブックの作成班を務めさせていただくなど、様々な立場で協会に関わらせていただいております。

これらの経験を経る中で、それぞれの環境・現場で活躍される皆さまに対して、少しでも貢献出来ればと考えるようになり、先に述べた立候補の理由に至りました。会員と協会理事の双方向的な意見交換には、総会において代議員からの質疑を踏まえた的確な意思決定がなされていく必要があります。私もその一助となれるよう積極的に会員の皆さまの声を聞きながら、理学療法士そして協会や士会の社会的価値の向上につながる議論と提案が行えるように、働きかけていきたいです。

協会と都士会会員の皆さまとをつなぐ窓として、その役目を担う代議員の1人を選んでいただけないでしょうか。ご投票のほど、何卒よろしくお願いいたします。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

|               |               |                     |
|---------------|---------------|---------------------|
| 2009年～現在      | 東京都理学療法士協会    | 学術局 新人教育部           |
| 2015年～2021年8月 | 東京都理学療法士協会    | 大田区支部               |
| 2015年～2017年   | 東京都理学療法士協会    | 区中央部・区南部・島しょブロック世話人 |
| 2017年～現在      | 東京都理学療法士協会    | 代議員                 |
| 2017年～2021年9月 | 東京都理学療法士協会    | 公開講座準備委員会           |
| 2019年8月～現在    | 日本理学療法士協会     | 代議員                 |
| 2021年7月～現在    | 日本支援工医学理学療法学会 | 評議員                 |

私は、公益社団法人日本理学療法士協会代議員への立候補をさせていただきました栗田慎也です。現在までの理学療法士協会の活動は上記のように区支部活動から都士会、日本理学療法士協会の代議員などの活動に携わらせていただき、日本理学療法士協会の代議員は3期務めさせていただきました。代議員として、任期内全ての代議員総会に参加し、全ての代議員総会で事前質問をさせていただき、昨年は総会内でも意見をさせていただきました。これらの主な質問は「新生涯学習システム」と「会費の使い方」に関する内容でした。それは、多くの会員が新生涯学習システムを受けており、その制度や予算に関して、多くの会員からの意見を執行部に届けております。しかし、残念ながら新生涯学習システムの見直しにはまだ時間がかかるようですので、一度声を発した者として、責任をもって声を上げ続け、システム全体を通じて会員の不全がなく、他職種にアピールできる内容にしていきたいと思っています。今後も代議員として、今まで以上に、皆様からの声を日本理学療法士協会に伝える役割を担いたく、代議員に立候補させていただきました。以上が、私の代議員立候補の趣意説明となります。よろしくお願いいたします。



氏名 渡邊 祐介

都道府県士会 東京都

年齢 43

勤務先名称 浮間中央病院



氏名 原島 宏明

都道府県士会 東京都

年齢 55

勤務先名称 総合東京病院

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【（公社）東京都理学療法士協会】  
平成28年～現在 地域活性局区西北部ブロック部北区支部部員  
平成28年～現在 公開講座準備委員会委員  
平成29年～現在 スポーツ局部員  
令和02年～令和5年 スポーツ局スポーツイベントサポート部 部長  
令和05年～現在 スポーツ局子どもの健康・安全部 部長  
【（公社）日本理学療法士協会】  
平成29年～平成31年 スポーツ支援推進執行委員会総務小委員会  
令和03年～現在 代議員

日本理学療法士協会の代議員に立候補しました渡邊祐介です。  
これまでに東京都理学療法士協会においてスポーツ関連事業や地域での理学療法に携わって参りました。特に、小中学校での学校保健・安全事業において、科学的な視点での運動指導を通じて子どもたちの健康への貢献を心掛けて参りました。

私の立候補の背景には、地域での活動における経験と実績を活かし、さらなる発展を図るという熱意が御座います。また、行政や他組織との連携の重要性を感じており、社会に理学療法士が益々浸透し、私たちの職能が広く認知されるよう努めて参ります。さらに、若手理学療法士の活躍の場を増やし、医療・保健・福祉の増進に貢献するための取り組みを推進して参ります。皆様のご支援と信頼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【立候補の趣旨】  
東京都理学療法士協会 副会長・広報局業務執行理事、公益事業推進委員会委員長をしております、医療法人財団健貢会 総合東京病院 原島宏明です。理事としては会員の皆様及び東京都民の皆様へ円滑な運営が出来るように現在も活動しております。また、広報局業務執行理事として広報部、外宣部を各部署、委員会と連携を取りながら、また時代に合わせた形にて、東京都民・会員などへ啓蒙しています。  
公益法人推進委員会から公益事業推進委員会となり、より公益制の高い事業進めてまいります。  
今までの経験を活かしてこの度理事へ立候補させていただき、東京都の会員の皆様及び都民の皆様のために努力したいと思います。

【東京都理学療法士協会役員歴】  
2008年～社団法人 東京都理学療法士会 理事  
2008年～2015年社団法人 東京都理学療法士会 介護保険部長  
2012年～2017年 東京都理学療法士会 災害対策委員会委員長  
2015年～公益社団法人東京都理学療法士協会 副会長  
2017年～公益社団法人東京都理学療法士協会 公益法人推進委員会委員長  
2019年～公益社団法人東京都理学療法士協会 広報局業務執行理事  
2023年～公益社団法人東京都理学療法士協会 公益事業推進委員会 委員長





氏名 佐藤 譲司

都道府県士会 東京都

年齢 48

勤務先名称 多摩リハビリテーション学院専門学校



氏名 古谷 英孝

都道府県士会 東京都

年齢 47

勤務先名称 苑田第三病院

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会東京都代議員に立候補させていただきました、佐藤譲司と申します。これまで公益社団法人東京都理学療法士協会西多摩南多摩ブロック世話人としての活動や第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会企画局次長なども経験させていただきました。勤務先は多摩リハビリテーション学院専門学校にて理学療法学科長を務めさせていただいております。学生との対話の中で、理学療法士協会への興味や活動内容、組織についての解釈が希薄である点は我々教員の広報活動が怠惰であることも伺えます。代議員になりましたら、これまで以上に学生はじめ地域の臨床の先生方の声を拾い、縦と横のつながりを強固にすることにより、今まで以上に活動しやすい環境設定が行えるようご協力できればと存じております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】  
2019. 4-2019. 12 日本スポーツ理学療法学会 第6回学術大会準備委員  
2015. 1-2020. 3 東京都理学療法士協会 ライフサポート部  
2021. 5-2023. 2 第9回日本予防理学療法学会学術大会 副準備委員長  
2022. 4-2023. 3 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 運営部門  
2022. 6-2023. 3 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会準備委員  
2014. 4-現在 東京都理学療法士協会 公開講座準備委員  
2014. 4-現在 東京都理学療法士協会 教材資料部  
2021. 8-現在 日本スポーツ理学療法学会 評議員  
2021. 8-現在 日本運動器理学療法学会 評議員  
2023. 8-現在 第12回日本運動器理学療法学会学術大会 準備委員（財務）

【立候補の趣旨】  
現在、理学療法士18年目になります。現在は、医療法人社団苑田会苑田第三病院の科長という立場で勤務させて頂いております。臨床現場で勤務する中で、臨床や管理業務以外に、教育、研究に力を入れてまいりました。また、協会や士会に関わることで、諸先輩方に様々なことを教えて頂き、社会貢献の機会を頂いてまいりました。現在までにつちかった経験や知識を少しでも協会に貢献できたらと思い、この度、代議員に立候補することを決意しました。少しでも臨床現場の声を協会に届けられるよう尽力する所存でございます。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



氏名 相澤 純也

都道府県士会 東京都

年齢 46

勤務先名称 順天堂大学・大学院



氏名 小山 貴之

都道府県士会 東京都

年齢 46

勤務先名称 日本大学文理学部

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

1999～2006 東京都理学療法士会事務局総務部員  
2011～2013 日本理学療法士協会運動器理学療法研究部会運営幹事  
2017～2019 日本スポーツ理学療法学会運営幹事  
2017～2021 日本理学療法士協会認定理学療法士（スポーツ）必須研修会講師  
2018 第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会準備委員・総務部長  
2018～2020 日本理学療法士協会理学療法士講習会講師  
2019～2020 第6回学術日本スポーツ理学療法学会大会準備委員・学術部長  
2019～2021 第7回学術日本スポーツ理学療法学会大会準備委員・演題部長  
2019～2021 日本スポーツ理学療法学会常任運営幹事  
2020～2021 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会副学術大会長  
2021～2022 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会学術大会長  
2021～現在 一般社団法人日本スポーツ理学療法学会理事長  
2021～現在 一般社団法人日本理学療法学会連合理事  
2022～現在 日本理学療法士協会代議員  
2022～現在 認定理学療法士（スポーツ）認定カリキュラム講師（東京都理学療法士協会スポーツ局）  
2023～現在 日本理学療法士協会スポーツ理学療法業務推進部会部会員  
2023～現在 スポーツ庁令和5年度Sport in Life推進プロジェクト検討委員会座長、有識者会議委員

【立候補趣旨】理学療法士となり都内大学病院に入職してすぐに東京都の士会で総務部員となりました。理事や上長のご助言で様々な社会勉強をさせて頂き、それらが現職の礎となっておりま。理学療法士となり24年間、士・協会には臨床・実践、研究、教育、そして社会貢献の機会を頂きました。この度、ご恩返しを含めて、後進、ひいては患者様や広く社会に貢献すべく、現場の声を協会に届ける役割を担えるよう代議員2期目に立候補することに致しました。皆様のご理解、ご支援を頂けますと幸いです。

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】  
2011年～現在 東京都理学療法士協会・学術局研究推進部部長  
2016～2021年 日本理学療法士協会ガイドライン用語・策定委員会・作成班  
2017～2018年 第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会会場部長  
2018～2020年 日本理学療法士協会主催スポーツ理学療法研修会講師  
2019～2020年 日本スポーツ理学療法学会運営幹事  
2019～2020年 日本理学療法士協会研究推進委員会委員  
2021～2022年 日本スポーツ理学療法学会理学療法標準化検討委員会委員長  
2021～2022年 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会準備委員長  
2022年～現在 日本スポーツ理学療法学会理学療法標準化検討委員会担当理事  
2022年～現在 日本理学療法士協会代議員

【立候補の趣旨】  
これまでスポーツ理学療法診療とスポーツ科学・体育領域の教育・研究活動に努めてきました。東京都理学療法士協会では研究推進部の部長として、若手理学療法士の理学療法研究の啓発を中心に講習会や研究助成活動を継続的に行っております。学会活動は日本スポーツ理学療法学会の運営幹事、委員会委員長、理事を歴任し、現在はスポーツ理学療法におけるミニマムスタンダードとなる理学療法評価の標準化を担当し、委員会委員とともに標準評価の作成を進めております。  
職能と学術活動は理学療法の根幹をなすものです。上記の通りその両者に関わってきた身として、協会活動と学会活動の連携を深めていきたいと考えております。自身の経験を活かすだけでなく、より多くの若い理学療法士の意見や考え方を集約しながら、引き続き代議員として当協会のさらなる発展、理学療法士の地位向上に貢献したいと考え、立候補することといたしました。



氏名 今井 覚志

都道府県士会 東京都

年齢 49

勤務先名称 慶應義塾大学病院



氏名 豊田 輝

都道府県士会 東京都

年齢 48

勤務先名称 帝京科学大学

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【立候補の趣旨】

理学療法士の発展のためには、日本協会と都士会が理念や指針を共有しつつ、それぞれの役割を発揮することが大切であると考えます。今回、双方の発展に関わるために立候補いたしました。代議員の活動を通じて、頑張っている理学療法士、協会、そして広く国民に貢献できれば嬉しく思います。

### 【協会・士会の活動（現在）】

東京都理学療法士協会 区西南部区西部ブロック部長  
第43回 東京都理学療法学会大会 大会長  
日本スポーツ理学療法学会 研究推進委員会 委員

### 【協会・士会の活動（過去）】

日本理学療法士協会 需要供給調査班  
日本理学療法士協会 ガイドライン策定委員  
日本スポーツ理学療法学会 広報委員

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2012年度～現在 公社）東京都理学療法士協会 理事（2021年度～副会長）  
2012～2017, 2022～23年度 公社）日本理学療法士協会 代議員  
2021年度～現在 一社）日本理学療法管理学会 副理事長  
2021年度～現在 一社）日本支援工学理学療法学会 理事（編集委員）

この度、本会の代議員に立候補致しました豊田輝です。私が代議員に立候補させていただいた理由は、「社会に貢献できる理学療法士の組織づくりや人材育成の構築」と「理学療法士の社会的地位の向上」に貢献するために尽力したいと考えたからです。我々、理学療法士は日々、対象者のために研鑽していることは言うまでもありません。しかしながら、昨今の社会変化に伴い社会からの要請が大きく変化しようとしている中で、理学療法士の専門性が理学療法業界の専門性に留まっていたら理学療法士の社会的地位の向上や新しい職域の拡大には繋がらないと考えます。我々は、保健、医療、福祉の専門家として今後の社会を見据えて、何を準備し何を研鑽するべきかについて今一度、自らを点検し、変わらない専門性と発展させるべき専門性を見極め、研鑽する必要があると考えます。つまり、本会の生涯教育体制が“理学療法士のための理学療法士による教育体制”ではなく、“理学療法士に対する社会からの要望も職能団体として受け入れられるような体制、相互交通システムの構築”を目的とした教育体制でなくてはならないと考えます。今後、社会からの要求に対応できる基盤作りとして、理学療法士の質的な研鑽が位置付けられ、職能団体としての「自己責任」と「自主・自律性」に基づいた教育体制の構築に尽力したいと考えております。最後にになりましたが、会員一人ひとりが本会の理念を共有・共感できる環境や機会を整え、“理学療法士”の専門性を活かし地域社会に対して大きな役割を果たせるように、東京都の会員一人ひとりのご意見を充分に集約させていただき、執行部へ届け、本会の代議員として尽力する所存でございます。





氏名 森島 健

都道府県士会 東京都

年齢 62

勤務先名称 東京衛生学園専門学校



氏名 井出 大

都道府県士会 東京都

年齢 58

勤務先名称 医療法人社団永生会

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】公益社団法人 東京都理学療法士協会 会長 理事・前副会長・元広報局局長・元外宣部部長・前理学療法関連機器開発委員会委員長・前都民の声委員会委員長、日本理学療法士協会代議員・委員会委員【立候補の趣旨】この度、日本理学療法士協会代議員選挙に立候補させて頂きました森島 健です。私は、東京都理学療法士協会では2015年度より会長の職務に就いております。地域包括ケアシステム構築や東京オリンピック、パラリンピックへの協力、災害対策などの事業に向けて、主に事務局機能強化を念頭に置き組織力強化に取り組んできました。そのために、ブロック活動を推進し区市町村での支部活動の立ち上げに力を注いできました。また日本理学療法士協会では、今まで代議員の役割のほか様々な委員としても活動させていただきました。現在は組織強化対策推進部会部員としても活動させていただいております。日本理学療法士協会と都道府県士会は、お互いが理解し協力しあう必要があります。日本理学療法士協会からの提言を都士会へ周知することや、また東京都理学療法士会の意見を協会へ進言することなど、そのために代議員は大変重要な役割を担う必要があると考えております。この重要な代議員という役割を東京都理学療法士協会会長という立場で継続させていただけたらと思います。決意を新たに立候補させていただきました。我々の団体は、会員数も増え大きな組織になりつつあります。今後は、数の増加だけでなく、実のある組織作りが必要となります。組織力を高めることにより、今後の超高齢社会に向けて、誰もが住みやすい地域社会の実現が可能になると思います。そのために理学療法士全員の力を結束していきましょう。私も全力で頑張ります。よろしく願いいたします

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

(士会協会役員歴)

平成31年 東京都理学療法士協会広報局広報部部長  
令和2年 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会広報局局長  
令和3年 日本理学療法士協会代議員  
令和4年 第59回日本理学療法学会学術研修大会広報局局長  
令和4年 東京都理学療法士協会理事 広報局局長

(立候補の趣旨)

私は平成9年に理学療法士免許を取得し、経験年数27年目となりました。新卒にて東京都八王子市の医療法人に入職し、現在は東京都や八王子市の様々な委託事業の統括管理に従事しております。東京都南多摩地域リハビリテーション支援センター、高次脳機能障害支援センターの運営、保健所委託業務の脳卒中医療連携協議会での事務局運営等となっております。また令和4年からは東京都理学療法士協会理事を拝命し、広報の業務に携わりました。広報での活動状況は以下の通りです。1) 令和2年：会員向け都士会ニュースの電子化、2) 令和4年：都民向け広報誌「理学療法力 TOKYO」創刊、発行部数20,000部 発送先 会員施設 行政関連 高校等、3) 令和5年：公式SNSの開始：X・Instagram・Facebook 現在までSNSや広報誌に着手しましたが、まだまだ情報伝達は不十分で、紙媒体やファックスといった媒体やSNSでは届かない層へいかに届けるのかは大きな課題となっております。会員のみならず、都民や行政、支援団体への情報伝達には会員諸氏との連携により仕組みを構築する必要があると考えています。また日本理学療法士協会は様々な課題が山積しておりますが、地域支援に資する行政との連携と広報活動をより深化させるため、今回代議員へ立候補をいたしました。何卒皆様方のご支援をお願い申し上げます。最後になりますが、今回私の決意表明をご覧になっていただきありがとうございました。



氏名 古川 順光

都道府県士会 東京都

年齢 55

勤務先名称 東京都立大学健康福祉学部



氏名 保苅 吉秀

都道府県士会 東京都

年齢 53

勤務先名称 順天堂大学医学部附属練馬病院

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成14年度～平成21年度 社団法人東京都理学療法士会学術局新人教育部員  
平成19年度～平成21年度 第44回日本理学療法学会大会準備委員、運営調整部長、学術誌作成部長、人員管理部長  
平成22年度～平成24年度 社団法人東京都理学療法士会学術局新人教育部長  
平成25年度～平成26年度 第33回東京都理学療法学会大会準備委員長  
平成25年度～令和2年度、令和5年度～現在 公益社団法人東京都理学療法士協会理事  
平成25年度～現在 公益社団法人東京都理学療法士協会学術局長、新人教育部長  
平成26年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会代議員

この度、日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました。よろしくお願いいたします。  
私は現在養成校の教員をしておりますが、教育現場ではコロナ禍以前とは全く変わってしまったと感じることが多くあります。接触機会の激減により、緊密だった学生間の関係も希薄になり、先輩が先輩から学ぶ機会も減っています。また、オンライン授業により、知識の伝達・修得の効率は上がりましたが、技術のコツや勘など、対面での経験が必要なものは以前より修得が困難になっていると思います。一方で多様性の時代とされる現代では、学ぶ機会や就業の機会も幅広く設定されるべきであるとも思われます。すなわち養成校での教育・就職後の生涯教育の重要性がより高まっているといえます。  
養成校教員、東京都理学療法士協会の新人教育担当として、理学療法士教育に携わってきたこれまでの活動や経験を活かし、代議員として会員の皆様の声を協会活動に反映させ、多様性の時代、コロナ禍後の時代の理学療法士、さらに国民の皆様に還元していくことができればと考え、このたび日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました。何卒よろしくお願いいたします。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

私は大学病院で勤務して30年になります。臨床では脳梗塞・脳出血など脳血管疾患における急性期症例に関わって参りました。また、パーキンソン病をはじめとする神経変性疾患、脊髄疾患の術後症例などを多く経験してきました。  
さらに骨関節系、呼吸器など様々な疾患や、それぞれの症状を伴う複合的な症例も多く関わって参りました。  
近年、脳梗塞では血栓溶解療法や血栓回収術、パーキンソン病では脳深部磁気刺激療法など医療機器の発展に伴う新たな技術の開発、画像診断の多様化による病状診断の精度の向上、高齢化による様々な合併疾患に伴う重複した症状による臨床像の変化により、理学療法士に求められる知識と技術も多様になってきていると感じております。  
リハビリテーションの分野でも、再生医療やロボティックスの導入が現実となっており理学療法士として、先進的な医療に注目すると同時に、理学療法の視点からどのように機能改善を提供出来るかを求められていると感じております。  
これらのことを踏まえて、臨床に関わる立場から、意見を発信し任務を全うしたいと考えております。  
これまでも代議員を務めて参りましたが理学療法の発展のために引き続き任務を遂行したく立候補いたしました。  
宜しく申し上げます。  
第7回神経理学療法研究部会学術集会（東京）準備委員長  
日本理学療法士協会主催理学療法士講習会 講師  
2011～2012年日本理学療法士協会 神経部会運営幹事  
2013～2021年日本理学療法士協会 日本神経理学療法学会 運営理事  
2018年～日本理学療法士協会代議員  
2019年～臨床実習指導者講習会講師・世話人  
2021年～日本神経理学療法学会 理事



氏名 門馬 博

都道府県士会 東京都

年齢 43

勤務先名称 杏林大学



氏名 田畑 稔

都道府県士会 東京都

年齢 60

勤務先名称 東京保健医療専門職大学

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【協会・士会役員歴】

2022－ 日本理学療法士協会 代議員  
2021－ 日本理学療法教育学会 副理事長  
2021－ 日本小児理学療法学会 評議員  
2021－ 日本理学療法士協会 グローバルプロジェクト運営部会  
アジア人材育成プロジェクト リーダー  
2023－ 日本理学療法士協会 DX及びAI推進検討部会 部会員  
2017－ 東京都理学療法士協会 公開講座準備委員会 委員

### 【立候補の趣旨】

2年間代議員を務める中で、協会組織の運営に関わる世代と現場で働く世代との間に意見、考えの隔たりを感じており、代議員の主な職責は総会において組織の方針決定に投票というかたちで意思表示をすること、そして総会における質問を通じて現場で働く理学療法士の意見を業務執行役員へ挙げることに認識しております。若い世代が非常に多く在籍する組織だからこそ、私は代議員としてもっと若い世代の意見を大きく反映させていく必要性があると考えております。

また、これまでに日本理学療法士協会においてグローバルプロジェクト運営部会などで活動させていただき、他国の理学療法士と関わる中で各国の理学療法士の職務の違い、日本の特徴なども考える機会が多くありました。それらの経験も踏まえつつ、日本の理学療法士のあり方について意見を挙げていきたいと考えております。

理学療法士に関する需給推計における厳しい見通し、若い世代の急増に伴う質の担保、社会の新たなニーズに応える職域拡大、そして新型コロナウイルス感染症との戦いなど、さまざまな課題がいまなお我々の業界には存在しておりますが、こういった課題に対して組織として誠実に向き合っていけるよう、代議員としての職責を果たしたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 協会・士会役員歴

1988年 日本理学療法士協会学術局員  
2008年 日本理学療法士協会、診療ガイドライン作成委員  
2011年 日本理学療法士協会、内部障害理学療法研究部会 運営幹事  
2013年 日本理学療法士協会、日本心血管理学療法学会 運営幹事  
2014年 日本理学療法士学会、編集委員会 査読委員  
2015年 日本理学療法士協会、地域包括対策本部コアコンピテンシー検討部会員  
2017年 日本理学療法士協会、ガイドライン・用語策定委員会 心血管作成班班員  
2019年 日本理学療法士学会、研究安全・学術倫理委員会 審査員  
2021年 日本循環器理学療法学会、理事、機関誌編集委員会 委員長  
2021年 日本予防理学療法学会、評議員、機関誌編集委員会 委員  
2022年 日本循環器理学療法学会 第6回学術大会長  
2022年 東京都理学療法士協会、地域活性局区東北部・区東部グロック部世話人

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員選挙へ立候補致しました田畑稔と申します。これまで東京都済生会中央病院22年、大学教員として16年勤務しております。日本理学療法士協会において、診療ガイドライン作成委員や日本理学療法士協会学会連合において編集委員会査読委員、日本循環器理学療法学会理事等の学術活動を中心に活動して参りました。私は、今後、都市部においても進展が予想されている少子高齢化対策や少子化に伴う理学療法士の後継者人材の確保や人口構造の高齢化に伴う臨床現場における疾病構造の変化（内部障害対象者の増加）や理学療法士としてキャリアアップするためのシームレスな卒前教育と卒後教育の連携および卒後においても理学療法士としてのコンピテンシーを習得できるキャリア形成の仕組み作りなどについて、微力ながらお役に立つことができたいと思ひ、代議員選挙へ立候補させて頂きたく存じます。理学療法士協会会員皆様の声を大切に、活動させて頂きたく存じますので、何卒、どうぞよろしくお願い申し上げます。



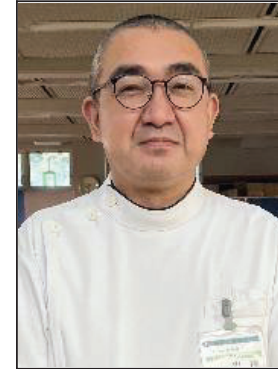


氏名 内田 学

都道府県士会 東京都

年齢 49

勤務先名称 東京医療学院大学



氏名 中澤 幹夫

都道府県士会 東京都

年齢 54

勤務先名称 多摩丘陵リハビリテーション病院

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

東京医療学院大学の内田学と申します。この度、日本理学療法士協会代議員選挙に立候補させていただきます。これまで、一般社団法人日本栄養・嚥下理学療法学会の理事長として学会の組織運営を行ってまいりました。学会連合として、学際的な組織を形成していく専門的な働きかけだけではなく、国民の求めているサービスに応える理学療法士協会としての関りも大変重要な事であることは言うまでもありません。現在は、東京都理学療法士協会多摩支部長として活動しておりますが、もっと多くの関りを形成するために日本理学療法士協会代議員選挙に立候補させていただきます。若輩者ではありますが、よろしくお願い申し上げます。

2019年 日本理学療法士協会栄養・嚥下理学療法部門運営幹事  
2020年 「理学療法学」編集委員  
2021年 日本栄養・嚥下理学療法研究会理事長  
2023年 一般社団法人日本栄養・嚥下理学療法学会理事長  
2023年 日本理学療法学会連合理事

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

<協会・士会役員歴>  
平成17年～28年 東京都理学療法士協会 渉外局 業務推進部部長  
平成19年～28年 東京都理学療法士協会 西多摩南多摩ブロック世話人代表  
平成21年～現在 東京都理学療法士協会 理事  
平成21年 第28回東京都理学療法学会大会 大会長  
平成21年 第44回日本理学療法士学会大会 会場運営部 会場責任者  
平成24年～28年 東京都理学療法士協会 渉外局次長  
平成24年～現在 日本理学療法士協会 代議員  
平成25年 第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会 学術局次長  
平成28年 第35回東京都理学療法学会大会 大会長  
平成29年～現在 東京都理学療法士協会 地域活性局局長  
令和4年 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会 準備委員長  
令和5年～現在 東京都理学療法士協会 副会長

#### <立候補趣旨>

私は、公益社団法人東京都理学療法士協会の副会長として渉外局業務執行理事及び地域活性局局長として、ブロック、区市区町村支部活動を担当しています。会員の協力のおかげで2021年11月に都内62区市町村のすべてに支部を設立することができました。この支部活動における各地域での会員から頂いた意見を反映したく、代議員に立候補しました。どうぞ、よろしくお願い致します。



氏名 松本 浩一

都道府県士会 東京都

年齢 40

勤務先名称 総合東京病院



氏名 島田 将行

都道府県士会 東京都

年齢 39

勤務先名称 江東リハビリテーション病院

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【協会・士会役員歴】

平成27年度～平成28年度 (公社) 東京都理学療法士協会 介護保険部 部長  
平成28年度～ (公社) 東京都理学療法士協会 代議員  
平成29年度～ (公社) 東京都理学療法士協会 災害対策委員会 委員長  
令和2年度～ (公社) 日本理学療法士協会 代議員  
令和6年 第59回日本理学療法学会研修大会 運営局 局長

### 【立候補の趣旨】

日本理学療法士協会の代議員選挙に立候補させていただいた、松本浩一と申します。  
現在、私たちの社会は、少子化・高齢化の進展に伴い人口構造が急速に変化しています。少子化・高齢化の進展による労働力人口の減少は社会構造の変化をもたらし、社会全体で、働き方の改善やデジタル技術の導入が促進されるようになりました。  
私たち理学療法士を取り巻く環境も変革の時期を迎えており、有資格者の増加と会員率の減少、人口構造の変化に伴う社会保障費の抑制と賃金問題、社会構造の変化に伴う働き方や需要・供給バランスの変化など、様々な問題・課題が顕在化しつつあると感じています。

私はこれまで、東京都理学療法士協会内で多様な事業・活動に携わらせていただきました。それらの活動を通じて、年齢や性別、職種、経験などを超えて多様な見識を持ち寄ることが、問題・課題解決に向けた大きな力になることを実感しています。

急速に変化する現代社会において、私たち理学療法士が適切かつ迅速に対応するためには、協会と会員とが連携し、有効な施策を推進することが不可欠であると考えます。ある経営学者の言葉に“変化はコントロールできず、できるのは変化の先頭にたつことだけである”との言葉がありますが、本会が公益法人として変化の先頭に立ち、持続可能な組織運営を進める一助となるべく、立候補させていただきました。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【役員歴】

2017年～2024年 東京都理学療法士協会 江東区支部委員  
(2020年～副支部長)  
2017年～2024年 東京都理学療法士協会 区東北部区東部ブロック委員  
2018年～2024年 東京都理学療法士協会 代議員

### 【立候補の趣旨】

この度、代議員に立候補致しました医療法人社団 巨樹の会 江東リハビリテーション病院の島田将行と申します。  
2016年に福岡より東京に異動し、2017年から協会活動を行って参りました。これまで様々な方々との活動・交流を通じて得られたご縁もあり、協会の方々と意見交換する機会も頂き、協会を身近に感じています。  
また当法人はセラピストが非常に多く在籍しており、私達が協会活動の一端を担う事は社会的に必要な事だと感じております。

昨今の職能団体の組織率低下やシームレスな卒前卒後教育の深化（による質の担保）、DXの遅れ、診療報酬によるリハビリテーション職種の更なる評価の必要性など、私達を取り巻く環境は非常に課題が多いと認識しています。

若輩者ではありますが、フットワークは軽く、型にはまらない強みを活かして代議員として執行部に意見を届けて参りたいと思います。  
趣旨をご理解頂ければ幸いです。





氏名 池田 由美

都道府県士会 東京都

年齢 56

勤務先名称 東京都立大学健康福祉学部



氏名 山手 千里

都道府県士会 東京都

年齢 48

勤務先名称 東京衛生学園専門学校

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成元年4月～平成18年3月 社) 東京都理学療法士会 厚生部部員、事務局庶務部部員、学術局新人教育部部員  
 平成5年6月～平成7年5月 社) 日本理学療法士協会 調査資料部部員  
 平成7年7月～平成9年6月 社) 日本理学療法士協会 総務部部員  
 平成18年4月～平成22年3月 社) 東京都理学療法士会学術局次長新人教育部部長  
 平成21年5月 第44回日本理学療法学会学術大会事務局長  
 平成22年4月～令和元年5月 社) 東京都理学療法士会理事・学術局局长  
 平成22年～現在 公社) 日本理学療法士協会 代議員  
 令和元年6月～現在 公社) 東京都理学療法士協会理事・副会長  
 令和2年6月～現在 公社) 東京都理学療法士協会 卒前教育検討委員会委員長

私は、現在、公社) 東京都理学療法士協会副会長、学術担当理事として都協会の臨床力・教育力・研究力の向上をバックアップできるような環境づくりを目指し活動しております。また、2020年度より卒前教育検討委員会委員長として、都内養成校で実施している臨床実習指導講習会の運営の援助等に携わっております。指定規則の改定、診療参加型での臨床実習、新生涯学習システム稼働と、この数年における理学療法教育の改革が実施されたきたなかで新たな課題も見えてきております。この4月から新指定規則で学んだ学生が理学療法士として臨床に立ちます。また、社会情勢が刻々と変化する中で、私たち理学療法士を取りまく社会からのニーズも多種多様となっており、様々な領域で活躍する理学療法士も増えてきています。引き続き一人の理学療法士として、協会員の皆様の意向を汲み反映していくことで、日本理学療法士協会の今後の展開に寄与できればと考え、このたび代議員に立候補致しました。よろしくお願い致します。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

今回、公益社団法人日本理学療法士協会代議員へ立候補させていただくことになりました。山手千里です。2018年から代議員へ着任させていただいております。2015年から昨年6月まで、東京都理学療法士協会の理事として、主に学術局を担当しておりました。現在は、学術局研修部部員の一人として士会活動に携わっております。また、2023年は日本神経理学療法学会学術大会の準備委員として運営に携わりました。これまで様々な研修会、学術大会の企画・運営に携わっておりますが、いつも感じることは、会員の皆様のご協力がとても心強いことです。そのためにも、組織力を向上させることの重要性を改めて感じています。また、2022年度から生涯学習制度が新しく変わり、新しい制度に合わせた士会での運営を進めてまいりました。実際に運営に携わることで、会員の方から様々な問い合わせを受けることも多くあります。前期研修、後期研修、また登録理学療法士・認定専門理学療法士の更新についても、事業を展開し、会員の皆様の継続的な生涯学習をサポートできるよう引き続き活動できればと考えております。

そのためにも、日本理学療法士協会からの情報を士会の皆様へ届けられるよう代議員として職務を全うできればと考えております。

以上が代議員立候補趣旨となります。よろしくお願い致します。

### <協会・士会活動>

2015年～2023年6月 公益社団法人 東京都理学療法士協会 理事  
 2015年～2020年6月 公益社団法人 東京都理学療法士協会 研修部部長  
 2017年～2023年6月 公益社団法人 東京都理学療法士協会 学術局局长  
 2018年～ 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員  
 2021年 第40回東京都理学療法学会学術大会 準備委員長  
 2023年 第21回日本神経理学療法学会学術大会 準備委員  
 2024年 第59回日本理学療法学会学術大会 準備委員



氏名 知脇 希

都道府県士会 東京都

年齢 50

勤務先名称 帝京平成大学健康メディカル学部



氏名 渡辺 重人

都道府県士会 東京都

年齢 40

勤務先名称 世田谷リハビリテーション病院

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【日本理学療法士協会・都道府県理学療法士協会役員歴】  
平成27年～平成30年 日本理学療法士協会理事  
令和元（平成31）年～現在 東京都理学療法士協会理事

### 【立候補の趣旨】

現在の制度で日本理学療法士協会の方向性に賛否を明確に表明できるのは、代議員です。その重要性を鑑み、代議員に立候補いたします。

令和2年は代議員選挙に立候補し当選、代議員として活動させていただきました。しかし、令和4年は立候補を見合わせました。その当時、東京都選出代議員の女性比率は3割超で一定の割合が担保できていたからです。またコロナ禍にあり、会議の平日夜への移行、感染予防のため親に子どもを預けることを控えたことなどがあり、私に生活の余裕がなかったということがございました。現在東京都選出代議員女性割合は1割となっています。私は「足りないところで活動する」ということがモチベーションの一つになっています。女性割合が少ない現在、また代議員として活動させていただきたいと考えております。

近年の日本理学療法士協会での活動としては、他国協会との関係醸成部会部員として多国間ウェビナーを開催に携わり、第1回は米国・韓国・台湾・日本、第2回は英国・シンガポール・インドネシア・日本の中で公衆衛生に関する情報交換を行いました。グローバルプロジェクト部会の中で一番の年長者となったこと、性別問わず活躍している部会であったことから、今年度部員から退きました。卒前卒後シームレス化検討部会では、Post-OSCE作業部会から提出された案等検討しています。東京都理学療法士協会では、理事、地域活性局次長、事務局ライフサポート部部長として活動を継続しています。これらの経験を活かしながら、代議員として活動したいと考えております。

よろしくお願いいたします。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

### 【協会・士会役員歴、士会活動歴】

2013年～現在 東京都理学療法士協会 区西南部区西部ブロック部 部員  
2016年～現在 東京都理学療法士協会 代議員  
2016年～2018年 東京都理学療法士協会 中野区支部 支部長

東京都理学療法士協会の士会活動に約10年間携わらせていただいております。短い期間ですが、活動に関わる中で理学療法士を取り巻く環境は大きく変化していることを実感しています。士会活動に限ったことではなく、情報の多様化により世間が目まぐるしく変わっていくことに対して、われわれ理学療法士も適切に対応していくことが重要だと感じています。そのためには日本理学療法士協会と各都道府県士会が連動し、その機能を発揮し、理学療法士を取り巻く環境に対する働きかけを行っていく必要があると思います。毎年、約1万人の理学療法士が誕生する現在では多くの若手理学療法士が臨床業務に従事しています。急激な理学療法士の増加は、臨床現場を取り巻く環境を急速に変化させています。日本協会や都道府県士会もその変化に迅速に対応していくことが重要ではないかと思っています。多くの臨床現場で求められていることを、適切なタイミングで日本協会の事業に反映させていくために代議員としての役割を担いたいと考えています。これまでの士会活動の経験により、近隣の他施設の理学療法士とのつながりをつくることができ、近隣地域や東京都における理学療法士の抱える課題や活動すべきことを身近に感じることが出来ました。東京都の代議員として、これらのことを日本協会へ届け、日本協会と都士会の事業がより一層会員のためとなり、その結果、理学療法士が国民の医療・保健・福祉にさらに寄与できるよう、協会事業の運営に携わらせていただきたいと考えています。



氏名 鈴木 享之

都道府県士会 東京都

年齢 45

勤務先名称 社会医療法人 社団大成会 長汐  
病院



氏名 野口 隆太郎

都道府県士会 東京都

年齢 42

勤務先名称 初台リハビリテーション病院

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【東京都理学療法士協会活動】  
2016～2020年度 代議員  
2021～2022年度 理事  
2011年度～現在 都士会区西北部ブロック部世話人（2019～豊島区支部員兼任）  
2018年度～現在 スポーツ理学療法運営担当者（2019年～スポーツ局長兼任）

【日本理学療法士協会活動】  
2018年度～現在 代議員（3期）  
2020～2021年度 2020人材育成実践管理者検討委員会委員  
2021～2022年度 オリパラレガシー編集作業部会員  
2023年度～現在 協会役員・士会長OGOBネットワーク検討部会委員

【立候補の趣旨】  
スポーツ庁では「幼児期の運動遊びを通じ身体を動かす事が、大人になってからの体力や健康に大きな影響を及ぼす」と伝えています。私は約10年前より「子供の未来をピッカピカに」と言う合言葉の下、都士会や日本理学療法士協会における様々な士会活動に励んで来ました。その結果、様々な地域や他組織の方々と「転倒・フレイル予防活動」「スポーツ大会サポート」「園児検診補助や姿勢・靴と足・運動遊びの取り組み」「小中学校における姿勢・コーディネーショントレーニングと安全教育」等色々な活動が行える様になりました。これらは、2022年理学療法の日「赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代に笑顔を届けるために、理学療法士は、あなたの暮らしに寄り添います」のフレーズと同様です。全世代を笑顔にさせる為、若手から現役を引退された先輩方に至る迄、様々な理学療法士の能力を活かせる組織作りをしたいと思い立候補しました。代議員となり①「多種多様な職種との共同活動にて、自己発見と広い視野を協会会員の皆様に、楽しく学び体験して頂く機会を創生する」②「0歳～お年寄りに至る迄、人の人生の様々な場面で活動・活躍できる理学療法士の可能性を発信する」この2つを軸に代議員活動を行っていく所存です。皆様からの、ご支援ご支持を是非ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

協会・士会の役員歴（現在）  
東京都理学療法士協会代議員  
東京都理学療法士協会代議員区西南部・区西部ブロック代表  
東京都理学療法士協会組織運営検討委員  
一般社団法人日本理学療法管理学会評議員

### 立候補の趣旨

私が今回立候補した趣旨は、長年にわたり東京都理学療法士協会代議員として務め、地域の理学療法士との密接な関係を築いてきた経験を活かし、日本協会とその会員の間に立って貢献したいというものです。

ブロック活動や支部活動、学会運営を通じて、地域の理学療法士の方々との様々なつながりを築き上げてきました。その中で培った洞察力や連携する力をもって、日本協会の発展と会員のニーズに応えることを目指します。

また、理学療法士の働き方が多様化する中、私は所属施設である回復期リハビリテーション病院にて多職種連携や後輩育成に努めてきました。さらに、所属施設の地域支援センター事業にも関わり、地域の健康増進、地域での多職種連携に貢献してきました。

今後も多く誕生する理学療法士の支援や多職種連携の強化を通じて、理学療法士の力を最大限に引き出すために努力します。

私の経験と情熱をもって、協会とその会員の発展に貢献したいと考えております。



氏名 稲垣 早織

都道府県士会 東京都

年齢 32

勤務先名称 原宿リハビリテーション病院



氏名 金森 宏

都道府県士会 東京都

年齢 48

勤務先名称 みなみ野病院

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

私はこれまでに東京都理学療法士協会で  
代議員を2期、務めさせていただきました。

理学療法士が幅広い領域で必要とされている昨今、  
私たちが活躍できる場を広げ、十分に力を発揮できるよう  
サポートしたいと思い立候補いたしました。  
また理学療法士協会会員も増加しているため  
会員の意見を柔軟に聴取し、より良い理学療法士協会に  
発展していけるよう活動してまいります。  
これまで行ってきた東京都理学療法士協会での  
経験をもとに、今後も日本理学療法士協会からの  
幅広い期待に応えられるよう尽力致します。

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成30～31年度 東京都理学療法士協会西多摩・南多摩ブロック代議員  
令和4～5年度 東京都理学療法士協会西多摩・南多摩ブロック代議員  
令和6年度介護報酬改定に係る要望等のあり方検討会 介護報酬（在宅医療およびリハビ  
リテーション）構成員

日本理学療法士協会代議員に初めて立候補いたします。 私は医療法人永生会という八  
王子の地域医療とリハビリテーションを支えるという理念の中、外来部門で15年、通所  
リハビリテーションで5年務めてきました。また、市の相談業務や高齢者事業、発達検  
診、講師活動等にも携わる機会を得てきましたが、その中、私たち理学療法士は何ができ  
るか、何を行わなければならないのかということを考え続けてきました、さらには医療介  
護障害福祉のトリプル改訂に対し日本理学療法士協会の令和6年度介護報酬改定に係る要  
望等のあり方検討会の構成員として、現場の意見を伝える重要性を痛感いたしました。  
今回の診療・介護報酬の改定は、より地域と密接に繋がる医療介護の連携を求められると  
共に理学療法士の専門性が問われる内容になったと考えます。代議員への参加により、情  
報を共有しながら理学療法士としての価値観を高めていくことを皆様の協力を得ながら  
行っていきたいと考えております。  
何とぞよろしくお願いいたします。





氏名 齋藤 弘

都道府県士会 東京都

年齢 45

勤務先名称 辻内科循環器科歯科クリニック



氏名 高見 友

都道府県士会 東京都

年齢 39

勤務先名称

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

〈協会・士会 役職歴〉  
平成26年度～平成31年度 日本理学療法士協会 代議員  
平成29年度～令和2年度 東京都理学療法士協会 理事  
令和5年度～現在 東京都理学療法士協会 理事  
令和元年～令和3年 日本理学療法士協会 地域包括ケア推進委員  
令和4年～ 日本理学療法管理研究会 理事  
令和5年～ 日本理学療法管理学会 理事

皆様にご理解いただき当選が叶えば、これまでの士会活動で培った業界内外のネットワークや公益事業の推進経験を活かし、理学療法士ができる国民の為の士会活動について努めてまいりたいと存じます。

代議員となった際に特に着目したい点は、以下の2点です。

1. 会員の底力を高める

会員による集合知と、組織による行動力や交渉力は日本理学療法士協会の強みです。学術大会や研修制度による理学療法科学の追求・理学療法士の職域拡大・国民への直接還元事業の推進などを進めることは、本会の事業目的に合致するものです。また、会員が会員であることの価値を高められることが重要と考えております。

2. 一歩進んだ地域リハビリテーションの創造

災害対策・教育・街づくり・防災予防等の領域においては、行政や各種団体そして地域の方々と連携する中で、私たちの知見・技能を発揮することによって、今見えていない価値を生み出す可能性が充分にあります。

私がこれまでの士会活動を通じて得た大変多くの経験といくつかの成果を活かし、今の教科書には載っていない地域リハビリテーションを創造し、皆様と理学療法士の職業価値を高めたいと考えます。

## 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成27年～平成30年 茨城県理学療法士会 調査・情報部 部員

この度、東京都理学療法士会代議員選挙に立候補いたしました高見友と申します。昨今の理学療法士を取り巻く環境を鑑みた上で、理学療法士の地位向上やキャリアアップ、さらなる社会貢献を念頭に、公共政策への積極的な関与を図りたいと考えています。その上で理学療法の価値を広く認識させ、理学療法士がより輝く環境作りに全力を尽くしています。

さらに業界内の連携を強化し、協会内メンバー同士の交流を促進するだけでなく、最新の研究や価値ある情報を共有する場を生み出していきたいと考えております。他の医療プロフェッショナルや機関との連携を強化し、総合的かつ効果的な治療アプローチを推進しながら、理学療法士がより活躍できる人間力向上を計りたいと考えています。

また、協会をより強固な組織にすべく入会の促進と退会の抑止を図り、理学療法士の地位を向上させるために努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 岡安 健

都道府県士会 東京都

年齢 52

勤務先名称 東京医科歯科大学病院



氏名 白樫 郁美

都道府県士会 東京都

年齢 34

勤務先名称 原宿リハビリテーション病院

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

日本理学療法士協会役員歴  
2015年～現在：代議員（東京都）  
東京都理学療法士協会役員歴  
2015年～2019年：ライフサポート部長  
2018年～2023年：文京区支部支部長  
2018年～現在：理事、総務部長  
2023年～現在：事務局次長

現在、日本理学療法士協会および東京都理学療法において、組織率が低下していることが問題となりつつあります。組織率が低下している原因は諸所検討されるところではありますが、近年増加している20代から30代の会員の皆様にとって、協会・士会に所属していることが自身の技術、知識向上、職域の拡大、社会貢献活動につながるという方向性を確立し、理学療法士のみならず社会全体に広く認知していただくことが重要であると感じております。

士会事務局の活動を通じて痛感している、組織率の低下という「危機感」を払拭すべく、協会代議員の活動から得られる様々な情報を基にして、対応策を講じていく所存でございます。

何卒、よろしくお願いいたします。

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、立候補させていただきました原宿リハビリテーション病院の白樫です。当グループは24の病院を運営しており、たくさんの理学療法士が所属しています。このたくさんの声を届ける必要があると感じておりました。これらの声を届けることで少しでも理学療法士の地位向上に繋がればと考えています。また協会の意義や活動が浸透していない現状を感じております。協会の代議員となることで、協会の意義や活動を伝えていきたいと思っております。ぜひ運営に関わらせていただきたいと思います。よろしくお願いします。